

デジタル療法・治療用アプリ分科会・Digital Therapy/Digital Therapeutics SIG

分科会長 佐竹 晃太

日本赤十字社医療センター

1. 分科会設立の目的

国内外におけるデジタル療法に関する調査、治療アプリを活用した新たな診療モデルの検討、アプリを用いた新たな臨床研究の推進やサポートを行う。

2. 分科会メンバー数 8人

3. 令和4（2022）年度の活動の実績と成果

(1) 第26回日本遠隔医療学会学術大会 デジタル療法分科会 企画

「DTx の社会実装」をテーマに、3氏にそれぞれアメリカ、ドイツ、日本における各国におけるDTxの社会実装に関する講演をしていただいた。

- ① 米国医療機器・IVD工業会 笠原真吾先生、
- ② 東京大学工学系研究科バイオエンジニアリング専攻個別化保健医療講座 岸暁子先生
- ③ 聖路加国際病院/株式会社 CureApp 谷川朋幸先生

その後、分科会メンバーの野村 章洋先生が座長としてその後ディスカッションを行った。

(2) 第26回日本遠隔医療学会学術大会 大会企画シンポジウム 3

「遠隔医療に利用されるプログラム医療機器~SaMD(自動測定機器から AI)」発表
分科会会長が学術大会のシンポジウムにおいて「オンライン診療における治療用アプリの活用」の発表を行った。

4. 令和5（2023）年度の活動の目標と計画

- (1) 普及啓発：国内外での他の学会での、治療用アプリ・デジタル療法に関する発表など。
- (2) 診療モデルの検討：デジタル療法に関する適正使用指針作成に向けて、分科会で協議する。
- (3) エビデンスの創出：治療用アプリやオンライン診療やIoTデバイスなどの各種臨床試験でのエビデンス構築に努める。

分科会長連絡先：satake.md@gmail.com